

# 令和5年度サイエンス・ファイト作品紹介

学 校 諫 早 市 立 長 田 小 学 校

学 年 3 年

氏 名 藤岡 美雨

タイトル 外来種がおそってくる？  
タンポポの生態を調べよう

## 概 要

本でタンポポの外来種がふえてきていることを知り、自分の地域でも外来種が多いのか調べました。



【在来たんぽぽ】とくちょう  
小花（花びらみたいに見えるのも）が少ない

【さんこうしりょう】

- ・子供の科学2023年1月号タンポポ分布マップをつくろう（保谷 彰彦）
- ・科学のアルバムかがやくいのちタンポポ（渡邊 弘晴）
- ・わたしのタンポポ研究（保谷 彰彦）
- ・ぜんぶわかる！タンポポ（岩間 史朗）
- ・ぼくの自然探検記タンポポたんけん（おくやま ひさし）
- ・みぢかないのち・生活科のほん17 たんぽぽ（河原 裕子）
- ・小学館図鑑NEO POCKET2植物

# 外来種がおそってくる？ タンポポの生態を調べよう

諫早市立長田小学校3年  
藤岡 美雨

なぜ？



## 観察のきっかけ

森山町のレンコン畑でのかんさつ会に参加して、  
同じように“くき”がストロー上になっているタン  
ポポも空気を通すために空どうになっているのか、  
ひもんに思った。

調べていくうちに、外来種が増えてきているこ  
とを知って、自分のちいきでも外来種が多いのか  
調べたいと思った。

## 予想



## よそう

在来タンポポは人の開拓があまり進んでいない昔からある場所に多く生えていると思う。

## 用意

## 用意したもの



- 地図
- タンポポずかん
- ビニル袋
- しんぶん
- きろく用紙

## 調べる



## ①ちがいを調べる

調べてみると、在来種と外来種と、そのミックスの雑種があることが分かった。

<総ほう：花を包む小さいうろこ状の葉>



在来種

外来種

雑種

直立

反り返っている

水平

## <種>

在来種	外来種	雑種
ふっくらしている。	ほっそりしている。	?

## <芽の出るじき>

在来種	外来種	雑種
3タイプある。6月。気温が15℃以下に下がった秋。翌年春。日本の気候に慣れている。	夏でも芽を出す。だけど、水がなかったり、ほかの草で日光が当たらなかったりして死ぬ。	?

## <見られるとくちょう>

在来種	外来種	雑種
ほかの株が作った花粉で受精して種を作らないといけないので、まとまって生えていることが多い。	ポツンと生えていることがある。自分だけで種を実らせることができるから。そこでまた自分だけで仲間を増やすことができる。	?

## <花>

在来種	外来種	雑種
白花タンポポは在来種。外来と在来のどちらも黄色がある。在来種は15種ある。	日本で見られるのは2種類。	?



調べる



## ②採取してひょう本にする

54のひょう本を作って、種類をくわしく調べた。



調べる



## ③表にまとめる

①総ほうのちがいから、在、外、雑種の数を知る。

在来種(直立)	外来種(別返り)	雑種(水平)
2 3 6 8 10 9	4 7 11 14 16 17	1 5 20 24 26 27
12 15 21 22 25 28	18 19 23 34 39 40	29 30 32 33 34 35
31 34 36 38 43 52		41 42 44 45 46 47
53		48 49 50 51 59
19本	12本	23本

- ・外来種よりも雑種のほうが多くてびっくりした。
- ・外来種が日本に入ってきて130年後の今は、外来より在来種が多くなってきている。このままだったら、しょうらい雑種だらけになってしまうかもしれないと思った。

②生え方のちがいから、在、外、雑種のちがいを調べる。

在来種		外来種		雑種	
まとまって	ポツン	まとまって	ポツン	まとまって	ポツン
8 9 10 12	2 3 6	4 7 17	11 13 19	5 20 24	1 26 27
22 25 28 31	10 5 21	18 19 23	16 39	29 32 33	30 37 43
34 36 43 52	38	39 40		34 35 41 47	51 54
53				44 45 46	
				48 49 50	
13本	7本	8本	5本	15本	9本

- ・黄色の在来種は、まとまって生えていることが多かったけど、シロバナ(在来)はポツンと生えていることが多かった。
- ・外来と在来種もまとまって生えていることが多かったけど、道路わきに生えているもの(外、雑)はポツンと生えているものがあった。

### ③種から、ちがいをくらべる。

在来種			外来種			雑種											
古くから	新しい	古くから	新しい	古くから	新しい	古くから	新しい	古くから									
2	3	6	7	9	17	4	7	11	5	1	20	26					
10	15	31	32	35	36	12	18	16	30	32	38						
25	28	31	43	19	50	51											
52	53			18													
6本			6本			0.5本			7.5本			1本			8本		

- ・在来のシロバナは、ふっくらしたのが多かった。
- ・外来種と雑種は、ほとんどほっそりした種だった。
- ・種が取れないみじゅくなひょう本が多かった。

### 豆ちしき：

日本に18種類の在来種があり、長崎に生えているのは、。

- ・カンザンタンポポ(三倍体 花ふんでふえる)
- ・モウコタンポポ(三倍体、)
- ・シロバナタンポポ(四倍体 花ふんをつかわずに種を作る)
- ・セイヨウ(外来)タンポポ(三倍体)
- ・雑種タンポポ(三〜四倍体)

### ④生えている場所から、ちがいをくらべる。

在来種			外来種			雑種												
古くから	新しい	古くから	新しい	古くから	新しい	古くから	新しい	古くから										
2	3	5	9	6	15	39	4	23	40	7	11	13	20	24	26	1	5	27
10	12	21	22	36	38				14	16	17	29	32	35	30	33	39	
25	28	31	43				15	19	34	41	45	46	37	42	44			
52	53			39			49			47	48	50						
14本			5本			3本			10本			10本			16本			

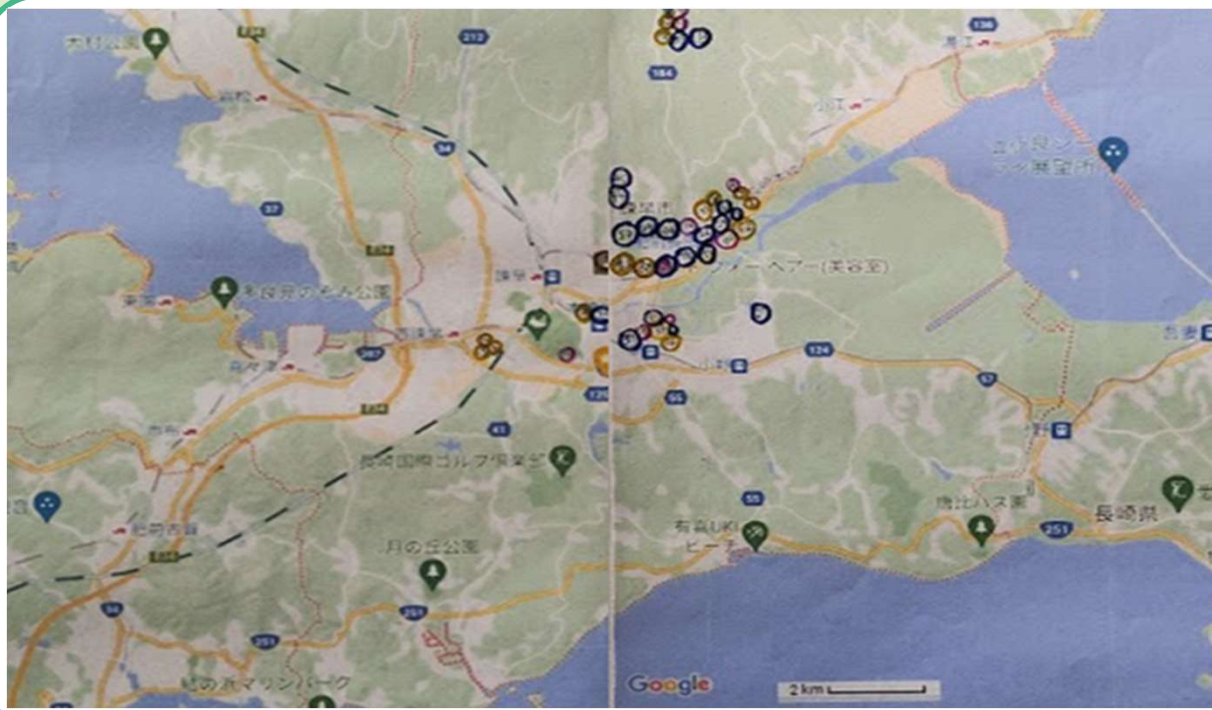
- ・在来種は、古くからある場所に多く生えていた。
- ・外来種や雑種は、新しくぞうせいされた場所に多く生えていた。

### ⑤気温から、生えるじきをくらべる (5/25から25度をこえだす)

- ・在来と外来種は25度以下で多く生えていた。
- ・雑種は25度をこえても生えていたけど、7月下じゅんの30度をこえるじきくらいから見かけなくなった。



在来種			外来種			雑種													
25℃以下	25℃以上	25℃以上	25℃以下	25℃以上	25℃以上	25℃以下	25℃以上	25℃以上											
2	3	6	28	34	43	4	8	11	39	39	40	1	5	20	29	30	32		
7	8	9	52	53				13	14	16				24	26	27	33	34	35
10	14	15				17	18	19							37	41	42		
27	22	25				23									44	45	46		
31	36	38													47	48	49		
15本			5本			10本			3本			6本			18本				



## ⑥採取場所を表にしてまとめた。

- 在来種：16本
- 外来種：9本
- 雑種：18本
- ※ 諫早市エリア採取分



- ・ 雑種がとても多かった。在来種も思ったより多かった。
- ・ 同じ場所でも雑種と在来種が入り混じっていた。



## わかったこと

- ・ 在来タンポポは、予想どおり、昔からある場所に多く生えていた。
- ・ 外来、雑種タンポポは、新しく造られた場所に多かった。
- ・ 在来は、いかいとたくさん生えていた。
- ・ 外来は少なく、雑種が一番多く生えていた。
- ・ どれもまとまって生えていることが多かったけど、シロバナはホッソと生えていることが多かった。
- ・ 雑種も逆さおき（ホッソと）に生えていることが多かった。



→ 雑種、外来シロバナタンポポは、ほかの花ふんがなくとも、タネが  
できるから、なかまがいなない、ポツンとした場所でも、生きのこれるか  
らだと思つ。

→ だから、新しく造成されないかきり、ポツンと生える在来のシロ  
バナタンポポは、ほかの花の花ふんと受精しないで、生きのこること  
ができると思つ。



## まとめ

ポツンと生きているタンポポもいたけど、ほとんどが集団で、  
よりそ、ておたがいの花ふんをこうかんして、しそんをのこしていた。

だから、花ふんをつかて、タネをつくてしそんをのこす雑種が、こんなに  
とてひろまってきたんだと思つ。 タンポポも人間もあうかして生きていること  
かにていると思つた。

